

堺市：大阪都参画への賛否問う住民投票見送りへ

毎日新聞 2013年05月22日

大阪都構想への堺市の参画について賛否を問う住民投票を、堺市長選（9月15日告示・同29日投開票）と同日に実施する計画を検討していた竹山修身市長は、住民投票実施を見送る方針を決めた。参画に反対する竹山市長は、自らが再選を目指して出馬する市長選単独で、その賛否を問えると判断したと見られる。

住民投票は、大都市地域特別区設置法に基づき、堺市を廃止して特別区に分割・再編することの賛否を問う計画だった。しかし、住民投票に約4300万円の費用がかかる▽市長選告示に先立つ住民投票の運動時に、支援者が竹山市長への投票を依頼すれば公職選挙法違反の恐れがある—ことなどから、市幹部らには慎重論が強かった。

住民投票を巡っては、都構想実現を目指す橋下徹大阪市長が「構想の中身が分からない段階で住民投票にかけてどうするのか」と批判、竹山市長は「民意を問う責任が私にはある」と反論していた。【高瀬浩平】